



今年も収穫に感謝 アジア学院



アジア、アフリカの農村指導者を養成するアジア学院（那須塩原市槻沢）で8日、「収穫感謝の日」が始まった。多国籍料理や研修生が各国から持ち寄った手芸品、民族舞踊、サポーターのバザーなどが行われ、家族連れなどでにぎわった。9日まで。

稲の収穫時期に合わせて行われている。学院で収穫された稲や野菜などが奉獻され売りに感謝する礼拝が行われ、写真（伊沢利幸撮影）、学院内のキャンパスツアー、民族衣装体験などのほか、特設ステージでは民族舞踊やゴスペルソングなども。食のブースではスリランカのダールカレー、フィリピンのバ

ムイ（焼きそば）など研修生たちの郷土料理が販売された。今年も西那須野ロータリークラブや西那須野、三島の両中学校の生徒がサポーターとして協力している。

産経新聞 アジア学院収穫感謝祭及び西那須野 R C サポート記事掲載

平成28年10月9日 日曜日 栃木版

西那須野 R C では10年前から地元の中学生（二校）からボランティアを募り、アジア学院収穫感謝祭に参加協力を実施しています。

中学生達は、物品や食事販売、食器洗いなどのボランティア体験と海外からの研修生との英会話などに挑戦し、ロータリークラブでは綿菓子製造体験、水風船釣りを企画実施し会員10名、中学生17名が参加し、売上金及びクラブからアジア学院に寄付金贈呈をします。

本年度は、宇都宮90クラブがアジア学院訪問に訪れ、参加者全員の集合写真撮影も行ないました。

西那須野ロータリークラブ
会長 角橋 徹